

ばんけい

教育ほつとにゅーす

かわら版

こ みち  
教育の小径

No.179

2023 September

9月号



(一財)総合初等教育研究所参与

北 俊夫先生



今月のことば

ご ごとく ときじょう  
五穀豊穰

穀物が豊かに実ることをいいます。五穀とは人が常食する5種類の穀物のことです。普通、米、麦、粟、キビ、豆をいいます。

## 自転車の事故防止教育

- 近年、法令違反による自転車事故が多発し、社会問題になっています。子どもが加害者になるケースも増えています。
- 学校では、交通ルールを遵守することを徹底して指導し、危険を予知し回避する能力を育てます。自転車保険についての情報も提供します。

## なぜ、自転車事故防止教育なのか

わが国の学校では、従来から交通安全教育に熱心に取り組んできました。そこでは、横断歩道や踏み切りの正しい渡り方、自転車の点検や乗り方など交通事故に遭遇しない（被害者にならない）ための指導が中心でした。

近年、中学生や高校生を中心に自転車による事故が増えています。信号無視はもとより、スマートフォンやヘッドフォンをしたままの走行、歩道での疾走、2人乗り、無灯火、傘差しなど交通ルールを無視した走行が目立っています。中学生や高校生になると、登下校時などに自転車を利用する機会が増えるからでしょうか。

自転車を利用するとき、被害者にならないように注意することはもちろん大切ですが、合わせて加害者にならないようにすることが重要です。

小学5年の子どもが自転車で坂道を走行中、歩行中の高齢者（女性）にぶつかり、女性が意識不明になる事故がありました。裁判になり、神戸地方裁判所は保護者に平成25年7月に95万21万円の賠償を命じました。自転車の走行時に重大な事故を起こすと、子どもであっても高額な賠償が請求される事案が相次いでいます。

自転車を正しく乗ることは、自分の身を守るためだけでなく、他人の命や安全を守るためでもあります。それは単にマナーにとどまらず、社会的なルールである法律を遵守することです。自転車は自動車と同じ「車両」です。基本的には車両としての交通規則が適応されます。自転車は車両であるという認識をもたせる必要があります。

なお、13歳未満の子どもや70歳以上の高齢者には、歩道を通行することが認められています。ただその場合にも、自転車は車道寄りを走行し、歩行者を優先することになっています。

## 早急に取り組みたいこと

学校では、交通安全を含めた安全教育に関する年間計画（学校安全計画）を策定しています。交通事故を撲滅するため、社会の交通環境の変化や子どもの自転車利用の実態、地域の道路状況などを踏まえて、安全計画を不断に点検し改善することが求められます。そのうえで、次のような課題に早急に取り組みます。

まず、自転車に乗るときのルールを指導します。警察庁は自転車で走行するときのルールとして「自転車は車道が原則、歩道は例外」「車道は左側通行」「歩道は歩行者優先で、車道より

を徐行」「安全ルールを守る」「ヘルメットを着用」などを「自転車安全利用五則」として定めています。子どもたちに法律やきまりの内容を分かりやすく伝え、法令遵守の意味と大切さを指導します。この4月からは、自転車に乗るときすべての人がヘルメットを着用することが努力義務になりました。

次に、危険を察知したり予知したりして、危険を回避する行動能力をはぐくみます。交通環境はそのときの人や自動車の動き、気象状況や時間帯などによって、時々刻々と変わります。その場の道路状況に応じた瞬時の判断と、法律にもとづいた行動が求められます。日頃から、地域で起こりうる事故の危険箇所や可能性を知り、事故から逃れるための対応策をイメージさせておくといでしょう。

さらに、自転車保険に関する情報の提供です。現在、兵庫県や東京都、大阪府、神奈川県、京都府など24の都府県では、条例で自転車保険への加入を義務づけています。努力義務として自治体も数多くあります。なぜ自転車保険の制度があるのか。メリットは何かなど、子どもたちや保護者に説明する機会をもつようにします。

各学校では、交通環境の変化や安全意識の低下などを踏まえて、自転車の事故防止教育を推進したいものです。

9月

今月の記念日

11日

公衆電話の日

明治33年(1900年)のこの日、東京の新橋と上野隅田川に初めて公衆電話が設置されました。当時は1通話15銭(当時のお蕎麦は1杯2銭)でした。



## いろいろな工夫をしているよ

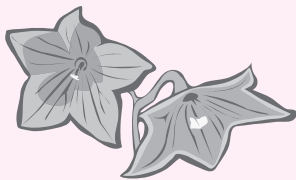
農家の人の仕事を調べていたときです。美和さんは「農家では野菜を作るために、いろいろな工夫をしているんだね」と発言しました。これに対して子どもたちは一斉に「同じデース」と反応しました。この発言に教師はどうリアクションすればよいのでしょうか。

授業の場では、抽象的な言葉がたびたび登場します。「工夫」もそのひとつです。国語科や社会科などの教科では、このほかに「努力」「苦労」「特色」や「働き」「様子」などの概念的で抽象的な言葉も使われます。

抽象的な発言が出された場面では、概念をくたくたのためのリアクション（概念くだき）を行います。これは概念を具体化させることであり、演繹的な思考や操作を促すことです。

ここでは、美和さんの発言を受け、「『工夫』という大事な言葉を使って自分の考えを言い表しましたね」と、まずは美和さんの発言内容を受け入れます。そのあとに「例えば、どのような工夫をしていたのですか」と具体的な工夫例を引き出します。このことによって、「工夫している」と発言したことの根拠や理由を聞きだすことができます。

美和さんの理解している「例えば」を聞いた子どもたちは、美和さんとは違った自分の「例えば」（具体例）をそれぞれ考え、発言の機会を求められます。すると、「同じデース」ではなかったことに気づきます。



## 教育の動向

### 子どもの読書活動の基本計画

文部科学省は、本年度から5年間の「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」を公表しています。これは、平成13年に施行された「子どもの読書活動の推進に関する法律」にもとづいて策定されたものです。

「計画」では、急激に変化する時代において、読解力や想像力、思考力、表現力などを養う読書活動を推進することは不可欠であるとして、すべての子どもたちが読書活動の恩恵を受けられるよう、社会全体で子どもの読書活動を推進することを目指しています。

基本方針には、社会のデジタル化やG

IGAスクール構想を踏まえて、緊急時等を含む多様な状況における図書館への継続的なアクセスができるように、図書館及び学校図書館のDX（デジタルトランスフォーメーション）を進めることがあげられています。

学校における読書活動を推進するために、デジタル社会に対応した読書環境の整備をあげ、ここでは、学校図書館システムのリンクなど一人一台の端末の活用、地域の図書館と連携した電子書籍の貸し出しサービスの導入、学校図書館の図書情報のデータベース化を進めるとしています。さらに、子どもの視点から、図書委員などの子どもが学校図書館の運営に主体的に参画させることも示されています。

今後、学校図書館の整備や運営などが大きく変わっていきそうです。

## 北俊夫の「実践と研究」の足あと47

### 旅行で見聞を広げる

私の趣味のひとつに国内や外国への「旅行」があります。見知らぬ土地に行くくと見聞が広がります。興味と好奇心ががき立てられます。テレビで旅番組を視聴していると、同じ場所でも、時間が経つと景観が変わったり、季節によって印象が違ったりすることに気づきます。わが国には素晴らしいところがあちこちにあります。

「体力のあるうちに海外へ、歳をとってからは国内旅行を」というのが私の持論です。これまでに延べ74の国や地域に出かけました。コロナ禍で海外旅行が一時ストップしました。

海外旅行で印象に残っているのは、メキシコのテオティワカン、クロアチアのドゥブロヴニク、ウズベキスタンのレギスタン広場、エジプトのアブ・

シンベル、ヨルダンのペトラ遺跡、イスラエルのエルサレム旧市街、ペルーのマチュピチュ、チェコのチェスキー・クルムロフなどです。これらの共通項は史跡や建物など文化遺産です。

ブラジルからのイグアスの滝、アイスランドの氷河、ニュージーランドのマウント・クックの氷河、トルコの Cappadocia、モロッコ側からのサハラ砂漠、ジンバブエのビクトリアの滝、ボツアナのゾウの生息地、オーストラリアのピナクルスなど、自然の素晴らしさや絶景も心に残っています。

海外に出かけた話をする時、「どこの国が一番よかったですか」と質問されます。少し間を置いて「やっぱり日本が一番いいですね」と答えます。外国に行くたびに日本のよさがわかってくるからです。日本は気候も治安もよく、安心して健康に暮らせる国です。

## INFORMATION

### てのひら文庫

文部科学省  
後援

「てのひら文庫賞」読書感想文  
全国コンクール 作品募集中!

9/22  
締切必着

子どもたちの小さなてのひらに載せられ、あたためられ、随所に持ち運ばれ、そして、くい入るように読破してもらいたい—そんな願いがこめられた読書教材です。

- ◎総監修/児童文学作家 石森 延男
- ◎A5判 16~28ページ 4色・1色
- ◎1~6年 各12冊
- ◎学校納入定価 1冊200円(税込)



## 編集後記

深みのある人間性は、読書によって培われます。自分自身も、小学校時代の読書が今の基礎になっていると感じます。読書活動のきっかけにはぜひとも「てのひら文庫」がオススメです。良ければ私のお気に入りの作品、「まぼろしのオリンピック」をぜひ一度ご拝読ください！（Y記）



企画・編集：ぐんぺい教育研究所  
発行：株式会社文溪堂  
発行日：2023年9月1日